

## 令和4(2022)年度 北海道博物館アイヌ民族文化研究センター事業報告

## ■ 資料の収集・保存

## (1) 資料の調査・収集

- 1) 当館資料として新たに受け入れた資料（未整理・未登録資料の解消を含む）
  - 5月：写真（1939年標茶町虹別でのイオマンテ）（7点）、漆塗りの桶及び蓋の部品（1点）
  - 6月：首飾り（1点）、久保寺逸彦旧蔵資料・山田秀三旧蔵資料など（計48点）
  - 10月：写真（樺太アイヌ）（1点）
  - 12月：木彫りクマと台座（4点）、三浦政治氏書簡（42点）
  - 1月：アイヌ人物の木彫り像（2点）

※「〇月」とある月は、当館の「資料審査会」で当館資料としての受入を承認した月です。

- 2) 上記のほか、積丹町、帯広市等での資料調査等を実施。

## (2) 文書・音声・写真資料等の公開

- 公開準備を終えた資料 0件（公開準備作業をR5年度に持ち越し）
- 資料の公開に向けた関係者との協議（承諾書の受領） 1件

## ■ 展示

(1) 当館総合展示内クローズアップ展示（クローズアップ展示3・4の2か所を主に分担）  
クローズアップ3

- 「田辺尚雄によるアイヌ音楽の調査記録」（4月15日～8月11日）
- 「受け継がれる手業 二風谷の工芸品」（8月12日～12月14日）
- 「萩中美枝さんの仕事」（12月17日～2023年4月）

## クローズアップ4

- 「アイヌ口承文芸の中の虫たち」（4月15日～9月29日）
- 「アイヌ無形文化伝承保存会 その設立と歩み」（9月30日～12月14日）
- 「新しく仲間入りしたアイヌ民族に関する資料たち」（12月17日～2023年4月）

## (2) 当館企画展

第3回蔵出し展「久保寺逸彦文庫—アイヌ文学研究者による調査と資料をとおして、時代をさぐる—」10月29日～2023年1月15日（観覧者数：6,838人）

## (3) アイヌ文化巡回展

- ・第12回アイヌ文化巡回展「アイヌ語地名を歩く～山田秀三の地名研究から 2022 釧路町」（9月3日、会場：釧路町公民館、協力：公益社団法人北海道アイヌ協会）130人
- ・第13回アイヌ文化巡回展・だて歴史文化ミュージアム特別展「アイヌ語地名を歩く～山田秀三の地名研究から」（9月17日～11月27日、共催・会場：だて歴史文化ミュージアム）1,473人
- 関連講座 1回（佐々木）

## ■ 調査研究（アイヌ民族文化研究センター職員が参画・実施した調査研究課題）

## (1) アイヌ民族文化研究センターが主体となって立案し実施する研究プロジェクト（2件）

- ・「北海道博物館収蔵資料の整理・分析に基づくアイヌ文化資料の利活用と総合的研究」
- ・「アイヌ文化に関する基礎的・総合的・学際プロジェクト」

※いずれも2020～2024年度（5年間）。

## (2) 北海道博物館全体で取り組む海外との共同研究等のプロジェクト（2件）

- ・「北海道とサハリン（仮）」（サハリン州郷土博物館との共同研究）
- ・「寒冷地の自然と適応」（カナダ・ロイヤルアルバータ博物館との共同研究）

## (3) 北海道博物館全体で取り組む「樺太記憶継承事業」

## (4) 外部資金（科研費等）を活用した調査研究 8件

- ・アイヌ音楽の旋律分析研究、及び北方諸民族の音楽との比較研究に向けた基礎的調査（甲）

- 地、科研費・基盤 C、2018 年度～2022 年度)
- ・アイヌ口承文学における話型分類の研究（遠藤、科研費・基盤 C、2020 年度～2023 年度）
- ・近代日本におけるアイヌ民族の〈社会への参画〉の歴史に関する基礎的研究（小川、科研費・基盤 C、2020 年度～2023 年度）
- ・博物館収蔵アイヌ民具資料の考古学的手法による分析：移入品としての漆器を対象として（大坂、科研費・基盤 C、2022 年度～2025 年度）
- ・考古学的分析手法を導入した博物館収蔵アイヌ民具資料の基礎的研究（大坂、科研費・若手、2018 年度～2022 年度）
- ・アイヌ語における存在型アスペクト形式の方言間の異同（吉川、科研費・スタート支援、2021 年度～2022 年度）
- ・「アイヌ語地名資料データベース」の基盤構築（小川、国土地理協会、2020 年 7 月～2023 年 7 月）
- ・アイヌ民族の交易品服飾資料に関する基礎的研究—北海道内の博物館所蔵資料を題材に—（亀丸、ポーラ美術振興財団、2021 年 4 月～2023 年 3 月）

## ■ 教育普及事業

### (1) 冊子等の作成・配布

- ・アイヌ語ブロック（ペーパークラフト版） 増刷 3500 部（8 月）
- ・アイヌ文化紹介小冊子 増刷（全 9 巻のうち 1、3、5、6、7、8 巻：各 1000 部）
- ・同小冊子の利用促進を図るリーフレットを作成し、道内の学校図書室に送付

### (2) 行事

[ミュージアムカレッジ]（※講話タイプの講座）

- ・じっくり聴こう！アイヌの音楽（5 月 29 日）
- ・「民族音楽学」入門（9 月 25 日）
- ・久保寺逸彦文庫を見る・読む・聞く①～③（11 月 6 日、11 月 27 日、12 月 4 日）
- ・インターネットを使ったアイヌ語学習（11 月 20 日）
- ・アイヌの英雄叙事詩を聞く—うたと言葉（12 月 17 日）
- ・ハレの日の装い（2023 年 1 月 14 日）

[子どもワークショップ]（※小中学生を対象にした参加型行事）

- ・アイヌ音楽 うたって・おどって・ならして（8 月 7 日、講師：スルク&トノト）

[アイヌ語講座]

- ・アイヌ語講座（全 4 回）（12 月～1 月）

[特別イベント]

- ・アイヌ音楽ライブ「マレウレウコンサート」（10 月 30 日、出演：マレウレウ）

### (3) 団体対応

グループレクチャー（見学団体向けの 15 分程度の講話）全 119 件のうち、  
「アイヌ文化の世界」をテーマとした実施件数：30 件

## ■ 博物館ネットワーク（国立アイヌ民族博物館等との連携）

- ・国立アイヌ民族博物館運営委員会委員（小川正人）
- ・国立アイヌ民族博物館運営委員会のワーキング会議構成員（大坂拓、小川正人）
- ・国立アイヌ民族博物館ネットワーク運営委員会委員（小川正人）

## ■ 情報発信・広報

- ・当館ウェブサイト内「ほっかいどうアイヌ語アーカイブ」の改修
- ・当館広報誌「森のちゃれんがニュース」の「アイヌ民族文化研究センターだより」等
- ・各種メディアの取材等への協力（「ウボポイラジオ」出演等）
- ・レファレンス対応 77 件

■ 人材育成機能の強化と社会貢献

- ・各種委員・共同研究員等への就任 27 件
- ・大学等の非常勤講師 3 件
- ・依頼講演（講座・講演会）等への職員派遣 12 件
- ・外部刊行物等への執筆協力 6 件

■ 研究成果の発信

- ・当館研究紀要への発表（『北海道博物館アイヌ民族文化研究センター研究紀要』8号）  
論文1本、研究ノート3本、資料紹介3本
- ・学会等での発表 0 件
- ・外部の学術雑誌等への発表 5 件